



志津南 news

志津南ホームページ
http://shizu373.net

志津南学区の人口 (10/1 現在)
世帯数 2,311 総人口 6,353 人

発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizuminamimachi@gmail.com

発電機・投光器など購入に向け

「がんばる地域」交付金申請へ

志津南学区まちづくり協議会は10月6日、第5回理事会で、草津市の実施する平成31年度「がんばる地域応援交付金」に応募申請する事を承認しました。

「がんばる地域」交付金を活用、安全・安心・交流のあるまちづくりを展開しようとするものです。事業の概要

1. 防災避難訓練の実施
学区(地区)防災訓練で、一時集合場所での安全確認や要支援者の避難実践訓練、まちづくりセンター・会館・集会所での避難所受入れ対応訓練など学区(地区)全体の避難訓練を行います。また、非常時の必要備品

(停電に備え携帯用発電機やLED投光器、携帯電話の充電器)の取扱い説明会を実施します。

2. 環境美化活動の実施
学区内の公園・遊園はじめ緑道・緑地などに特に若草地区は緑が多く、高齢化が進む中、この環境を維持するため各町内会で年間4回の一斉清掃を行います。さらにボラン



若草・岡本西地区防災訓練風景

動を支援します。この取り組みは、環境美化のみならず防犯等の抑止効果や近隣住民の交流の機会増加も期待され、安全・

安心・交流のまちづくりに繋がるものと考えています。「がんばる地域応援交付金」の申請には、これらの事業計画と共に、必要備品購入、会議やそれに伴う資料作成経費、消耗品費なども計上しています。全ての住民が安全・安心・

人選進む次期会長

平成31年度の志津南学区まちづくり協議会会長および監事の選考委員会設置が10月6日の理事会で承認され、委員に佐々木、奥村、木村の副会長3人が委嘱されました。

これを受け、選考委員会

地域防犯呼びかけ



交通防犯委員会(澤田委員長)は10月20日スターグリーンヒル店前、21日フレンドマート追分店前で、防犯や交通安全を呼びかけチラシやティッシュなどを配

交流のあるまちづくりを目指し、町内会単位の活動を一層活性化することで、近隣のふれあい希薄化の解消を期待するものです。今後、草津市による審査を経て、交付の可否が決定される予定です。

は同月21日、まちづくり協議会会長に現会長の花澤仁左エ門さんの再任、監事には佐々木奉昭さん(若草三丁目会長)、奥村孝さん(かがやきの丘会長)を候補者として選出、同月27日の正副会長会で了承を得たのち、11月10日開催の第6回理事会に付議されました。

布しました。写真。スターでは創業35周年の大売出しと重なり、スタート時から多くの客に受け取ってもらいました。

「苦勞様です」というねざらいの言葉をいただく一方、「こんな活動もされていくるんですね」との声もあり、継続的な地域防犯啓発活動の重要性を再認識しました。防犯は地域の人たちが一丸となって取り組んでいく事が大切です。ご近所の人たちと協力して、住み良いまちづくりを維持していきたいものです。

希望ヶ丘自治振興会が視察に



志津南学区まちづくり協議会(花澤仁左エ門会長)は10月16日、甲賀市希望ヶ丘学区自治振興会(吉田昌

孝会長)の役員ほか11名が視察に訪れました。写真。「自治連合会とまちづくり協議会との関わり」について、規模など共通点の多い志津南学区まちづくり協議会を参考に、草津市まちづくり協働課の紹介で志津南まちづくりセンターを訪

問されたものです。希望ヶ丘学区は昭和55年に開発、2600世帯7500人の新住民で構成され、自治振興会の加入率は80%、甲賀市人口の8%を占める人口集中地区です。

少子高齢化が進み、共働き世帯の増加や核家族化の進行、役員の担い手不足、地域の繋がりの希薄化など志津南学区と共通課題を抱えています。甲賀市全域に自治振興会が設立されて7年が経過しました。自治振興交付金は依然として既存ルールのまま運営され、多様性のある運用が難しく、新しいルールづくりや見直しが必要だと考えられています。志津南学区のシブシブな組織や各種団体のグループ化などについて活発な意見交換が行われました。

スポーツの秋さわやかに

爽やかな秋晴れの下、あちこちで運動会が開かれ、競技の一つひとつに、大きな歓声が沸きました。

志津南小 声援受けがんばる

志津南小学校(水野晃校長)が10月3日、南っ子わくわく運動会を行いました。



全校児童が、赤・黄・青・緑の4チームに分かれ、競技で得点を競いました。競技中は高学年のリードで、仲間のがんばりに、一生懸命応援を送りました。

団体演技では、それぞれの学年に合った表現運動を披露しました。低学年は、カラフルな手具を持って、リズムに合わせてのびのびとダンスを行いました。

中学年は、アレンジされた民謡の曲の力で力強い演技を行い、日本伝統の良さを表現しました。

追分南町内会 追分町内会と親善



追分南町内会(中村成太会長)は9月23日、追分町内会と親善レクリエーション大会を開催しました。43回目の今年も、様々な競技に熱戦が繰り広げられました。

- ▽クラウンドで追分町内会と共催の親善レクリエーション大会を開催しました。写真。43回目の今年も、様々な競技に熱戦が繰り広げられました。
- ▽多くの方々のご協力、ありがとうございました。
- ▽成績は次のおりです。
- ▽優勝 8-2組
- ▽準優勝 3-2組
- ▽3位 丸尾2組

高学年の組体操では、気持ち合わせ揃った演技を行い、美しさと力強さを表現しました。



笑顔はじける くるみ保育園

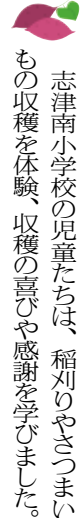
緑波くるみ保育園(服部登志夫園長)は10月8日、保育園クラウンドで第6回運動会を行いました。写真。

台風が去った後の秋晴れの下、幼児組の子ども達も達はかけっこやサーキット、リレーなど力一杯頑張りました。親子競技

現しました。写真。本年度は平日の開催になりましたが、多くの方にありがとうございました。

越しいただきました。児童への温かい声援をありがとうございました。

秋のめぐみに感謝



大きないもに歓声

志津南小2年生は10月16日、同小学校地域ふれあい農園で、さつまいもの収穫を行いました。写真。今年も、環境美化ボランティアさんや民生委員さんに協力していただきました。

まず、さつまいもの実り方を教わりました。地上からは葉しか見えませんが、茎をたどって地中にあるさつまいもを見つけます。畝をはさんで並び、手で土を掘り、次々とさつまい



もを掘り当てます。思ったよりも大きないもが出て、あちらこちらで大きな歓声が上がりました。どの子も、収穫する喜び

を感じながら、楽しく活動することができました。今年も、地域の方と一緒にたくさんさつまいもを収穫することができました。

感謝伝えた収穫祭 続いて10月24日、2年生がさつまいもの収穫祭を行いました。

お世話になった地域の方・ボランティアさん・民生委員さんを招き、感謝の気持ちを伝えると共に、一緒に秋の恵みを味わいました。まず体育館で、2年生が学習の成果を発表しました。運動会でも披露した団体演技「KIRARA☆KIRARA」がやく未来コネクション」と、国語で学習している「お



米作りの大変さ学ぶ

5年生は9月6日、5月に田植えした稲の稲刈りをし、稲を干した後の10月10日、脱穀を体験しました。稲刈りでは、黄金色になった稲穂のついた稲を、鎌で刈り取りました。何束かまとめて刈り、バンドでくくっていきまます。写真。最初はとまどう様子も見られましたが、作業が進むにつれ、手早くなりました。

刈り取った稲は学校に持ち帰り、中庭で「はさがけ」をして干しました。乾燥後、昔ながらの脱穀機を使い、もみを取ります。次にとうみを使い、風の力でもみとごみなどに選別します。子どもたちは初めての体験に興味津々。楽しく活動に取り組みました。



く発表することができました。その後、各教室に分かれさつまいもの蒸しパンと一緒に食べました。あまりの美味しさに、あっという間にみんなのお腹の中へ。笑顔でいっぱい収穫祭になりました。

見違えるほどきれいに

各所で秋の一斉清掃が行われ、多くの参加者が夏の間に伸びた草や落ち葉を掃除し、町がきれいになりました。

若草・岡本西 40分で終了

若草・岡本西地区は10月14日、秋の一斉清掃を行いました。写真。

晴天の下、事前清掃を含め742人（参加率81%）が参加しました。

毎回、町内会役員はじめ緑化ボランティアの方々が行っていたので、当日は40分程度で地域全体が美しくなりました。



かがやきの丘 班単位で草刈り



かがやきの丘町内会（奥村孝会長）は10月6日、本年度2回目の町内一斉清掃を実施しました。

台風の影響による雨が心配される中、149世帯、大人152人、子ども69人が参加し、班単位で、南北の両公園に加え緑地帯、遊歩道を分担し、草刈りやゴミ拾いを実施しました。

南・北公園に準備したブルーシートに、大きな草の山ができ、あたり一面はきれいになりました。写真。

緑地の一部にウルシが生えていました。またすぐに自生してくると思われ、緑地に立ち入る際には、触れないよう注意して下さい。また、9月23日には環境

追分南 まち協軽トラ活躍



衛生部員と元部長6人で、草刈機とチェーンソーによる緑地帯の草刈りと、竹伐採を実施しました。

追分南町内会（中村成太会長）は、10月14日、本年度2回目の環境整備を実施しました。

5ヶ月ぶりの草刈りとなり、各所で草木が生い茂る中、6ヶ所の公園や道路沿いの緑地のゴミ拾いと草刈りを終えました。

5月に引き続き、ユートピア北東「里道」のゴミ拾いと草刈りも実施しました。

ユートピア、向山西の14人が、300円近く、下草刈りを行い、初めて志津南まち協所有の軽トラックが草木の運搬に活躍しました。写真。

明るく安全な道となり、自転車や徒歩での通行がしやすいとなりました。

お薬

続
よもやま話

薬剤師 家康

徳川家康は、駿府で薬園を開き、100種類もの薬草を栽培する一方、薬味筆筒の製薬器（薬研・乳鉢など）、調合器具（秤など）や薬草関係の書物を手元に置いて自ら万病円、八味丸、紫雪、六味湯、蘇合円などを作り、調合して服用する「薬マニア」、「健康マニア」として有名でした。

<8>

このことは彼の慎重な性格を表しているように思われます。

63歳で將軍職を秀忠に譲り、大御所となってからはとくに熱心になったと言いますから、自身で健康管理する「セルフメディケーション」の実践者だったようです。



それは、粗食中心を貫き、ミネラル、ビタミン、たんぱく質が豊富で栄養素のバランスの良い麦飯と焼き味噌などを中心

に「汁一菜を好んでいた」ところも分かります。一方、家康はスポーツとも言える鷹狩にも熱心で、身体を鍛えると同時に、時には獲物の肉も食したことでしょ

う。また「旬のものを好み、季節外れのものや冷たいものを食べなかつた」とされ、これも健康維持のために良い習慣だったようです。

信長や秀吉と異なり、対内的および対外的に慎重で

老獪（ろうかい）な行動をとったこと、晩年に腹心として謀略家、本多正信を置いたことが後に豊臣家を倒して天下人となり、約300年にわたる徳川幕府の礎を築くことにつながったのでしょ

う。加えて、自ら薬の知識を身につけ健康に留意し、また体力の強壯を心掛けて多数の側室を寵愛した結果、子供を沢山残して政略上利用したことも大きな要因といえます。

こうして家康は当時としては長寿と言える75歳まで生きました。

（太田俊作）

初めこわごわのちスイスイ



最初は、外周の手すりを持ちこわごわ滑っていた子ども達も講習最後の頃には一人でリンク中央で滑れるまでに上達していました。お母さん達は、2階の観



優しい音色楽しむ

「なごみ会」（浅野謙一代表）は10月18日、きらり会館でヘルマンハープアンサンブルリンドンバウム（原



田孝子先生）の皆さんを招いてヘルマンハープの演奏を楽しみました。写真。

美しく優しい音色の4曲をゆったり聴いた後、指先を使うので「脳の活性化に効果がある」との話やヘルマンハープについての説明がありました。

弾き方を教わり、譜面とにらめっこしながら第九の「歓喜の歌」の一節を、そして「ふるさと」を見事合奏することができ、とても楽しい貴重なひと時を過ごしました。

チャリティバザー盛況に



ふれあいハウス「絆」は10月21日、第6回チャリティバザーを若草6丁目児童遊園で開催しました。写真。

清々しい秋空に恵まれた当日、開店と同時に大勢の方にお越しいただき大盛況に開催できました。

今回の開催にはスタッフの思いも一段と熱いものがありました。何より地域の方々から衣類、陶器、食器、日用品などたくさん提供いただいたこと、可愛い小物、素敵なアクセサリー、丁寧に縫製された袋物など手作りの店を4店、出店していただいたこと、また「船積み」コーナーを新たに企画したことなどがあり、楽しく買い物をしていただきました。

テラスや室内で買い物後のコーヒータイムをゆったり過ごした人も、「年1回でなく春秋2回してほしい」と嬉しい声もいただきました。2階では買い物のお母

紅葉の中ウォーキング



志津南学区健康推進員(荒木キクエ代表)は10月27日、「秋のはつらつウォーキン

グ」を開催しました。写真。心配していた雨も上がり、色鮮やかな紅葉の中、23人の参加者は、文化公園まで往復12kmのウォーキングを楽しみました。写真。

道中は仲間とおしゃべり、現地の芝生の広場では、懐メロを歌ったり、やよこしい指遊びで脳の活性化を図ったり、又、元気で長生きのためストレッチ体操をしたりして楽しい一日を過ごしました。

さんを持つ子どもたちが絵本やモノレールなどで楽しそうに遊んでいました。今夏は全国各地で地震災害や水害が出ましたが、今

「絆」のたこ焼き大人気



志津南学区はふれあいハウス「絆」が10月13日、草津市社会福祉協議会(清水和廣会長)の第7回ボラン

ご近所力アップ

若草一丁目町内会は10月7日、恒例の親睦行事である「ワンファミリーフエス

「近所力アップ」を開催しました。昨年引き続き「ご近所力アップ」をスローガンに実施、102人もの住民が参加、若草第一集会所と若草一丁目児童遊園を会場に盛り上がりました。写真。

午前は、たかしま災害支援ボランティアネットワーク「なます」(太田直子代表)の講演、午後はハーベキュー、後半はビンゴゲームを楽しみました。百名超えの「ご近所力アップ」を強く感じる事ができました。

今後、本行事の主旨を大切にして継続していくことが重要であると思います。(実行委員長 室積利通)

回の売上金4万円は市社協を通し、北海道胆振東部地震災害義援金として寄付をさせていただきました。(スタッフ一同)

ティアフェスティバルに例年通り「たこ焼き」を出店しました。

「未来へかける くさつのあした」をテーマに、同社協を会場に開催され、広場にはフードコートのテントが並び、市社協キャラクターの着ぐるみ「ふくちゃん」も登場しました。

ふれあいハウス「絆」の「たこ焼き」はスタッフの手慣れた火加減で、外はカリカリ、中はふんわりと焼きあ

がり、お客さんから「おいしい」とお声を頂きました。スタッフは「おいしいたこ焼きはいかがですか」と呼び込みにも力が入り笑顔で対応していました。

生まれ変わったバス停ベンチ



昨年より量を増やしましたが、お陰様で屋過ぎには完売。大勢の方々との交流も出来楽しい1日となりました。

(絆スタッフ一同)

ベンチ生まれ変わる

老朽化による破損が目立っていた若草中央通りのバス停ベンチ(南草津駅方面)が修理されました。

修理困難なベンチは撤去修理可能なベンチが、たく

えた。全身が痛い、と言うのである。

元々、食が細くて小柄な父は、25kgまでやせ細り、一層小さくなっていった。何とか痛みを取れないものかと医師に相談すると、「痛みを取る処置も出来るが、意識がなくなり、ずっと眠り

父 帰る

続けてしまう。お父さんは意識がすっかり失って、家族と話も出来る。それを大切にしたい」との事だった。

私達家族は納得し、痛みを取る処置をする、という選択はなくなりました。しかし、父の苦しそうな様子を

パソコンの駅
▽パソコンについての相談
▽11月22日(木)、
12月18日(火)
13時~16時
▽志津南まちづくりセンター
1サロ

さんの人の協力で生まれ変わりました。

修理の手にあたったのは、地域の方々でした。修理にかかった費用は、ダイワ不動産のご好意をいただきました。ありがとうございました。

見るのは辛かった。父が亡くなった後、後悔

最後に見舞った時、父は別れ際に「ありがとうね」と言ったそうだ。母はとても喜んでた。意識があったからこそ、この言葉を聞くことができたのだ。もう後悔はするまい。Kさん、ありがとう。

痛みから解放された父は、故郷に帰り、祭囃子を聞きながら、安らかに眠っているだろう。

(J)

折々の記



「故郷は 祭囃子や 茄子の花」。父の作った俳句である。父は、俳句を作るのが趣味であった。新聞の読者投稿欄に時々応募していた(という実力であった)。

父は、昨年、92歳で亡くなった。誤嚥性肺炎になり、全く食べられなくなって、最後の二か月間は、点滴で命をつないでいた。その間、父は何度も「苦しい」と訴